

令和 7 年度 共同生活支援センターどんぐり 地域連携推進会議報告

日 時 : 令和8年3月 4 日(水)16:30~17:30

会 場 : グループホーム檜の木(見学)

どんぐり村福祉工場 喫茶山猫(会議)

参加者 : 別紙参照

○グループホーム見学

リビング、浴室、利用者居室の見学をした。

居室については、利用者の意向を確認し、了承を得られた利用者の居室のみ見学を行った。見学の際には、利用者が自分の生活を自らアピールする姿が見られ、主体的に見学者を受け入れていた。

○地域連携推進会議

1. 開会あいさつ

責任者より開会の挨拶があり、グループホームの基本方針や支援内容等について説明があった。

利用者の生活の様子を地域の方々や関係機関に知っていただくとともに、意見交換を通して地域との連携を深めてきたいとの話があった。

2. 出席者紹介

- ・出席者の皆さんの自己紹介

2. 事業所紹介

資料に基づき、施設概要や利用者の生活の様子、日常生活における支援内容について説明があった。

- ・グループホームの役割

利用者が地域の中で自分らしく生活できるよう、日常生活の支援や相談支援

を行いながら、地域との関わりを大切にして支援を行っているとの話があった。

・行事の様子など

グループホームで行っている年間行事や日常の活動について説明を行う。主な行事として、花火、クリスマス会、ひな祭り、節分、誕生日会、避難訓練等を実施。行事の際には献立にも取り入れ、季節を感じながら食事や行事を楽しむことができるよう工夫をしていることを紹介。利用者は皆、個人生活を大切にしているので企画をしても不参加の場合があるので必ず意思確認を行っている。

4. ご質問や意見交換

・地域関係者 民生委員・児童委員

災害に対してどのように対策しているのか？

→ 年2回防災訓練を行っている。ベル等大きな音が苦手な人がいるため配慮して行っている。

私たちはグループホーム利用者の事を知らないと言った支援が必要なのかわからない。

そのため、神社のお焚き上げ等の地域の行事に利用者・職員が参加し、地域とのつながりを作っていくことがとても大切である。積極的に参加してもらいたい。

・地域関係者 自治会長

避難経路等考え実践的な訓練を行っていった方がいい。色々な場面を想定してマニュアルを作っていく必要がある。道路などで危ないところがあれば市に修復の依頼を行うので知らせてほしい。

食事のメニューを決めて提供すると好みの事など融通がきかず、個別に対応していくのにも限界があるのではないかと？

→ 夕食は地域のベテランの方に入ってもらい提供している。嫌いなものは除いたり、好みの大きさに食材を切ったりしてその人に合わせ提供している。朝食は決まった献立を計画せずそれぞれの希望に合わせてパンやご飯を提供している。

・福祉知見者

避難訓練を年2回行っているが少ないのではないかと。他の施設では毎月行っている所もある。

これからのことを考え見直しが必要になってくる。加齢などで変化していくのでどう対応していくのか考えていく必要がある。

入浴時緊急の呼び出しなどはどうなっているか？何か起きてからでは遅いのではないかと？

→ 利用者から呼びかけができるため何かあったときはその都度対応している。難聴で長風呂が好きな人には30分ごとにカードやLINEでの確認を行うことを約束した上で入浴中の見守りを行っている。

個人も大切だが集団で生活することでしか得られない事もあるのではない。

一緒に生活することでほかの人と上手く付き合うことが出来るようになるなど GH の良さが出るようにしてほしい。

・市町村関係者 本巢市役所障がい福祉係

見学して個を大事にして支援を行っている様子を見ることが出来た。本巢市内では利用できる社会資源は、まだ少ないが地域と交流してつながりを持つようにしてほしい。

・利用者代表

昔は集まってイベントを行っていたがコロナの後は少なくなっているのでまた行いたい。

ご飯の量が多くて満足している。

大きな音が苦手なので一人暮らしを勧められて考えることもあった。外へ出るともっと色々な音があるため、GHの方がいいと自分で考えて今ここにいることが出来ている。

・保護者代表

個性が強い利用者が集まっているがしっかりと対応してもらえている。

3. 閉会挨拶

今回初めて地域の方がグループホームに足を踏み入れ、様々な意見をいただくことができた。今後も地域とのつながりを大切にしながら、関係機関と連携し、利用者が安心して生活を送ることができるよう支援を行っていく旨の挨拶があり、これをもって閉会となった。